

平成28年度 福祉保健活動拠点事業報告書

1 施設名

青葉区福祉保健活動拠点

2 事業計画

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

午前9時から午後9時まで（日曜・祝日は 午前9時から午後5時まで）
休館日（12月29日～1月3日）

<建物・設備の保守点検>

- ・エレベーターの機器及び運転性能の定期点検（毎月実施）
- ・その他電気設備等を必要に応じ点検

<清掃業務について>

- ・日常清掃 週2回（トイレ、エントランスホール、階段、手すり、湯沸室）
- ・日常清掃 週1回（障がい者の就労支援の一環）
（トイレ、エントランスホール、階段、手すり、湯沸室）
- ・定期清掃 年6回（床面） 年1回（空調フィルター）
年3回（窓ガラス） 年2回（害虫駆除）
年1回（照明器具）
- ・定期清掃（障がい児の就労支援の一環）年18回（館内および周辺の道路等）

<警備業務について>

- ・建物全館の不法侵入及び火災（24時間機械的遠隔監視を実施）
- ・防犯カメラ（入口付近）及びモニターの設置

イ 苦情受付体制について

<苦情への対応手順>

- ・本会業務全般について、苦情受付担当者及び苦情解決責任者を配置。受付、解決については定められた手順に従い対応
28年度 0件

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

- ・苦情受付担当者名及び苦情解決責任者名を館内に掲示

ウ 災害時の体制及び対応について

<連絡体制>

- ・行政を含め緊急連絡体制を整備

<職員の役割分担>

- ・火災等館内においては役割を分担
- ・消防訓練の実施（年2回）

<地域や関係機関との連携体制>

- ・青葉区災害ボランティア連絡会の事務局としての役割の遂行
災害ボランティアセンターシミュレーション実施（年1回）
定例会（年4回）臨時（年2回）
- ・拠点利用団体と合同、職員間で自主防災訓練の実施（年各1回）

エ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・既に本会が保有する個人情報の保護に関する規程を定めており、規程に基づき全職員が個人情報の保護に努めている。

オ 環境への配慮及び取組み

<ゴミの発生抑制に関する取組み>

- ・拠点利用者は基本的にゴミの持ち帰りを徹底

<再利用・再使用に関する取組み>

- ・紙類資源は再活用を徹底

<節電への取組み>

- ・拠点利用時にこまめな照明設備等の消灯、冷暖房の適温化に協力を依頼しました。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

- ・常勤職員 3名（うち管理者2名。区社協業務と兼務）
- ・非常勤職員
福祉保健活動拠点 4名
ボランティアセンター 2名

イ 職員の研修計画について

- ・横浜市社会福祉協議会が実施する各種研修を受講
- ・その他業務に関するテーマを設定して内部研修を受講

ウ 職員の情報共有の方法、連携等について

- ・日々の全体ミーティング（朝）を通じた情報共有を実施
- ・定期的に職員会議を開催
- ・文書等はLANフォルダ内で整理し、情報を共有化（紙類文書の削減への取り組み）

（3）事業内容

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組み

- ・地域福祉保健計画への取り組み及び推進
- ・地区社会福祉協議会への支援及び協力
- ・地域ケアプラザとの連携（月1回地域交流コーディネーター連絡会開催）
- ・区内各福祉施設・福祉団体とともに課題に対する会議（分科会）等を開催

イ 関係団体・機関等、ボランティア団体・当事者団体、地域団体との交流・連携について

- ・地区社協分科会（年7回）
- ・当事者団体部会・障害者施設連絡会（年5回）
- ・ボランティア・市民活動等分科会（年3回）等において連携の強化を行った。

ウ ボランティアに関する情報の提供及びその活用について

- ・本会のホームページでボランティア情報・事業、講座等の情報提供を実施。
- ・エントランスホールに情報コーナーを設置
- ・共有部分（廊下・階段等）に各種情報を提示

エ ボランティアの育成・支援

- ・技術ボランティア入門講座（録音朗読講座）
- ・精神保健福祉傾聴ボランティア講座
- ・お話し相手養成講座
- ・車いすメンテナンス講座

オ ボランティアに関する相談・紹介業務

- ・ あおばボランティアセンター「福祉110番」
専用相談室においてコーディネーターによる相談調整
- ・ コーディネーターの配置 全日 2名体制
 - 依頼件数 83件・紹介件数80件
 - ボランティア登録者数 130名
 - 福祉教育相談調整派遣 43件
 - 福祉機材の貸出 110件

カ メールボックス、ロッカーの貸出業務

- ・ 貸出ロッカーの設置（36個）
- ・ メールボックスの設置（18個）
※それぞれ無償にて1団体に1個貸出（1年間）

キ 地域福祉（保健）計画区別計画の推進への取り組みについて

- ・ 青葉かがやく生き生きプラン協働事務局として、区との連携強化
- ・ 地区別サポートチームへの参加

ク 貸し館の利用実績及び利用促進策の取組について

- ・ ホームページの他、施設のパンフレット及び「利用の手引き」を作成し配布

	利用件数	利用率
団体交流室	1, 987 件	72.9%
多目的研修室	1, 365 件	66.1%
点字制作室	625 件	30.0%
録音室	513 件	25.2%
対面朗読室	1, 034 件	48.8%

平成28年度 福祉保健活動拠点収支決算書

施設名：青葉区福祉保健活動拠点

(自)平成28年4月 1日

(至)平成29年3月31日

(単位：円)

		積算内訳	金額	
収 入	指定管理料収入		16,548,706	
	その他			
		負担金収入・雑収入	322,958	
		ボランティア講座参加費収入	13,500	
	収入合計(A)			16,885,164
支 出	人件費	職員人件費(常勤1名、非常勤6名)	7,893,336	
	事業費	ボランティア関連事業費、ボランティアコーディネーター謝金	1,400,835	
	管理費			
		日常管理・事務費	印刷機リース、分担金、求人広告料、消耗品等	2,706,477
		光熱水費	電気代、上下水道代	1,244,137
		小破修繕費	備品修繕等	1,709,430
		委託業務	建物警備、昇降機保守点検、清掃、消防設備点検、廃棄物処理等	1,928,450
	租税公課		501,000	
支出合計(B)			17,383,665	
収支 (A) - (B)			-498,501	